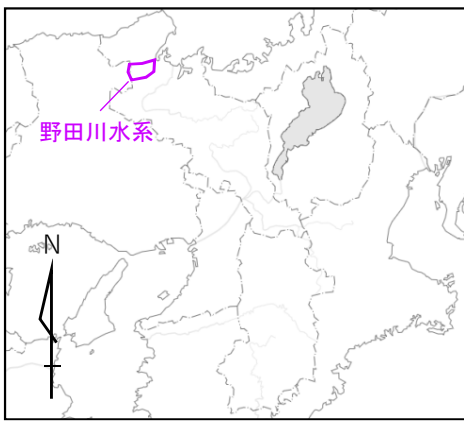
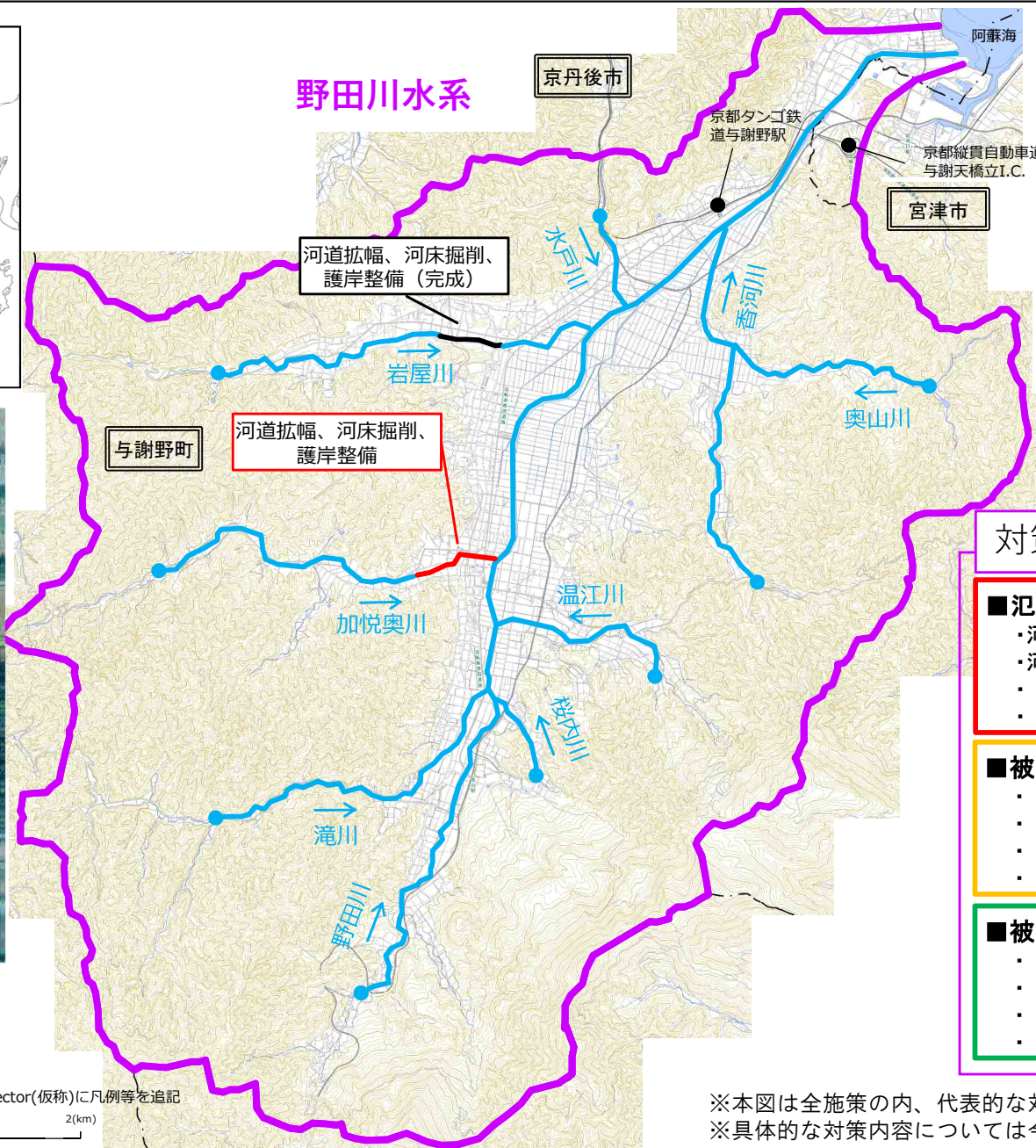


○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、野田川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



平成16(2004)年台風23号による被害  
『浸水家屋 241戸、浸水面積 342ha』



凡例

- 府管理河川
- 流域界

対策内容

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - ・河川等整備
  - ・河川等の維持管理
  - ・
  - ・
- 被害を減少させるための対策
  - ・
  - ・
  - ・
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
  - ・
  - ・
  - ・

国土地理院Vector(仮称)に凡例等を追記  
0 1 2(km)

※本図は全施策の内、代表的な対策を記載している。  
※具体的な対策内容については今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 野田川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

【中長期】

区分	主な対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川等整備	京都府	〇〇川堤防整備完成	
	下水道、排水機場などの排水施設の整備・維持		〇〇排水機場完成	〇〇排水機場完成
被害を減少させるための対策	リスクが高い区域における立地抑制・居住誘導		立地適正化計画策定	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白地帯の解消		洪水ハザードマップ作成	
	確実な避難行動の実施		防災教育・啓発活動等の推進	

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗の状況によって変更となる場合がある。

■河川対策

事業費 約●●億円※

対策内容 ○○、○○、○○ 等

※令和3年度以降の河川整備計画の残事業費を記載